

「血液脳関門を一過的にゆるめ薬物を脳内に送達する化合物の探索」

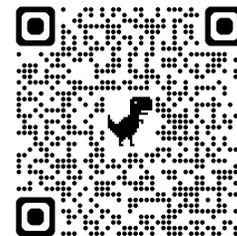
日時

2025年8月29日（金） 11:00 - 12:00

開催形式

Zoomウェビナー（聴講登録頂いた方に、URLをセミナー前日までにメールでお知らせします）

聴講登録

<https://forms.gle/MJSce5zQpp1Dhirj9>

登録〆切：2025年8月28日（木）17:00

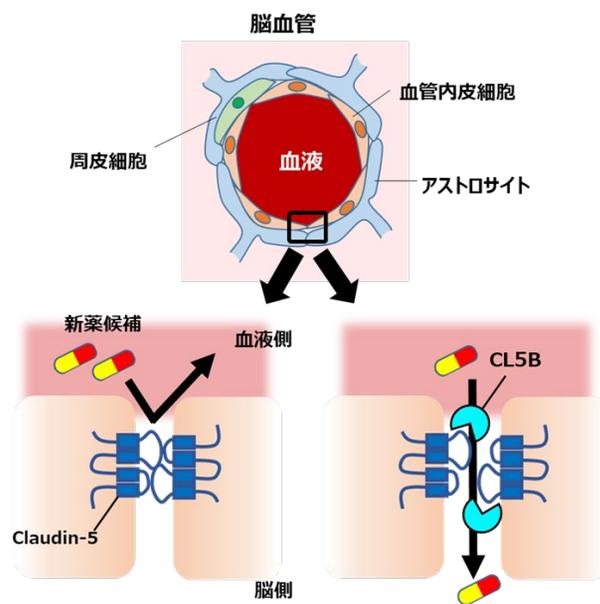
講演

「血液脳関門を一過的にゆるめ薬物を脳内に送達する化合物の探索」

岡田 欣晃

大阪大学大学院薬学研究科
臨床薬効解析学分野 准教授

血液脳関門は、脳血管が持つ異物侵入から脳を守るしくみである。一方で、血液脳関門は、薬物の脳への移行も妨げるため、脳疾患治療の大きな障壁となっている。今回我々は、血液脳関門を一過的に緩めて薬物を脳内移行させる低分子化合物を探索した。取得したCL5Bは血管内皮細胞を接着させる分子であるClaudin-5に結合し、細胞間接着を緩めた。CL5Bをマウス脳疾患モデルに投与すると、血液脳関門が一過的に緩み、脳内に薬物が送達されて病態が緩和した。本セミナーでは、この血液脳関門制御分子を用いたユニークな脳内薬物送達技術についてご紹介したい。



クロストーク

テーマ：アカデミアで創薬をする意義とは？

岡田 欣晃 大阪大学大学院薬学研究科 臨床薬効解析学分野 准教授
橋本 遥 株式会社Convallaria 代表取締役
鈴木 忍 京都大学「医学領域」産学連携推進機構 特定教授